

令和6年度事業報告

ワークハウスアイビー

【第二種社会福祉事業】・・・《 障害福祉サービス事業 》

- ア) 事業所の名称 ワークハウスアイビー
イ) 所在地 岡山市南区福富東 2-14-25
ウ) 経営主体 社会福祉法人 美土里会
エ) 実施事業及び定員

- ・ 就労継続支援B型事業
- ・ 定員 20名

I. 利用者状況

5～6頁参照

II. 実施事業

就労継続支援B型事業

i) 生産活動

- ① 各種箱折作業
- ② 食品セット作業
- ③ 封入・封かん作業
- ④ ネット商品発送業務
- ⑤ ボードダンボール組み立て作業
- ⑥ 車部品形成作業
- ⑦ リユース商品の清掃作業
- ⑧ 箸入れ作業
- ⑨ 景品のシール貼り作業

ii) 施設外就労

実施なし

iii) 工賃向上

岡山県の「工賃向上計画」に沿ったかたちで当事業所においても工賃向上計画を策定し、実施・適宜見直しを行った。

具体的には取引企業に作業量の増加を図り、重ねて高単価の製品に取り組んだ。

III. 支 援

1: 生産活動（工賃）

工賃向上に努め、毎月の工賃支払いと年度末に収支益を賞与として支払った。

<工賃実績>

就労継続B型事業の工賃目標及び実績は岡山県に報告しており、岡山県のホーム

ページにおいて自由に閲覧することができる。

年度	総支払工賃	月額平均工賃
R5年度	4,392,000 円	20,000 円
R6年度	4,559,300 円	20,649 円

2：生活支援

事業に定められた支援計画のモニタリング・見直しとは別に年度末に全利用者と個別面談を実施し、アセスメントを通じて個々のニーズの達成を時間軸に合わせながら支援計画を作成した。

- i) 基本的な生活能力については、アセスメントを通じエンパワメントを重視しながら達成に向け支援を実施した。長期目標とは別に具体的目標を時間軸の中で到達できるよう心掛けた。
- ii) 情緒の安定が必要な利用者には、作業面、社会活動面でも小集団化を図ることにより特に問題なく活動できた。今後とも、ケース会議等を通じて全職員に課題と支援方針の共有化を図り利用者の安心感はもちろんのこと、特定の支援者に負担がかかり過ぎないように軽減を図らなければならない。

3：行事

基本的に活動に係る費用を利用者負担としていることから利用者の費用が必要な行事は行わなかった。

- ・誕生日会（適宜）
- ・町内清掃（5月・11月・2月）
- ・健康診断（9月）
- ・忘年会
- ・新年会

4：健康管理

- ・年1回（医療機関による健康診断（実施医療機関：康愛クリニック）
- ・毎日の健康観察、適宜検温、家庭との連携のもと健康観察に努めた。
- ・服薬に関しては毎年アセスメント時において、情報を得つつ通院時の最新服薬情報の収集に努めた。個々には支援者による服薬の現認や、薬剤の殻確認等により徹底を図った。

また、利用者の服薬内容をより詳細把握するため調査を行い、変更時の情報把握方法も徹底した。

- ・希望されるご家族には利用者の同意のもと、かかりつけ医師への情報として観察記録の作成・提供を行った。
- ・職員に対しては季節性・新型の混合インフルエンザの予防ワクチンを原則全員に接種した。利用者には家族ぐるみのインフルエンザ予防接種をお願いした。

- ・利用者、職員とも敷地内禁煙、就業時間内禁煙を実施
- ・新型コロナウイルス感染症対策
- ・新型コロナウイルス対策のため手指消毒・うがい及びマスクの着用を職員は義務化、利用者も習慣化するよう努めた。
- ・手指消毒用の薬品を玄関等に常時設置した。
- ・階段の手すりやドアなど皆がふれるところを適宜消毒した。
- ・事務所、作業室、食堂等を換気扇や窓の開放に努め空気の流れをつくった。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のマニュアルを作成し、職員に周知徹底を実施。
- ・利用者、家族には新型コロナ対策の方針書及び感染症予防対策について徹底していただけるように説明書を適宜発出した。

5：送迎サービス

1名・・・（ハッピータウン岡南付近）

6：防 災

・火災による避難訓練と南海トラフ地震による津波及び水害（洪水）避難訓練を実施。また消防法で定められている年2回の消防設備の点検（内、1回を消防署に報告）を実施した。

- ・火災避難訓練 2回
- ・地震・津波 1回
- ・洪水時避難訓練 1回
- ・消防設備点検 年2回（アルソック）

□施設を区割りし、区画別に管理担当者の名前を記載した札を掲げ、担当意識を持たせるようにした。

□防火管理者を設置

7：支援体制（職員配置）

職員配置体制は指定基準を上回る基準で配置した。

職員配置状況 【人員数は常勤換算後の員数】

事業	実配置人員	配置基準
就労継続支援B型ワークハウスアイビー （目標工賃達成指導員含む）	4.3人	4.0人

8：会 議

支援課題の検討・協議をはじめ各種の会議を実施した。

① 個別支援計画会議

利用者一人一人に適切な支援をするため、支援計画の策定、見直しに係る会議を定期的に実施した。

② 作業班会議

毎月1回以上の実施。各事業班単位において、利用者の近況報告、生産活動の

収支状況、工賃の協議を行っているほか、事業別の課題協議として実施した。

③ケース会議

事業班会議で議題にあがる利用者支援上の課題に対して行った。日々の申し送り時や事業班会議では質・量とも不足する案件に関しては、別途ケース会議にはかり課題や対応の共有化をはかった。

④職員会議（全体）

月１、２回実施：支援状況の確認、事業班会議の報告、行事の立案、職場内研修、利用者工賃の協議等総括的協議の場として実施した。

⑤工賃向上会議

工賃向上計画沿って現状把握、進捗状況、課題の整理等を適宜実施した。

⑥申し送り

一日の全ての報告とともに、事故報告、ヒヤリ・ハット等の緊急的課題協議の場として毎日実施した。

⑦その他

- ・委員会会議（適宜）
- ・担当者会議（適宜）利用者を中心とした他機関と合同会議

９：研 修

【外部研修】

人材の育成及び新しい知識や動機付けの向上のきっかけが得られるように適宜以下の研修に参加した。（zoom 研修含む）

- ・コーチング研修
- ・工賃向上セミナー
- ・BCP 策定支援
- ・キャリア対応生涯研修
- ・リスクマネジメント
- ・苦情解決
- ・虐待防止・権利擁護

【内部研修】

多くの職員が同じ会場で同時受講することにより、理解を深め認識を共有できるように以下の研修を実地した。

- ・障害者虐待防止研修
- ・感染症対策研修
- ・防災研修
- ・BCP 研修（感染症・自然災害）

１０：地域交流

※施設団体として町内会に加入している

※地域共生社会において、その有効性を向上させるため以下の地域主催行事に参加し地域団体及び住民との交流を図った。

- ・（岡山市）清掃活動
- ・支援学校の実習受入れ

11：苦情受付

0件

12：その他（危機管理）

事故は十分に気をつけていても起こりうるものである。しかし過去の事故及びヒヤリ・ハットの事例から未然に防止できる事案もあることを踏まえ事故等が起きるたびに原因を精査し職員全員で意識の共有を図った。

ヒヤリ・ハット…0件

事 故 …0件

13：虐待防止

平成24年10月より「障害者虐待防止法」が施行された。

虐待の禁止だけでなく、事業者として防止策を講ずる責務を負っていると共に発見した場合は岡山市等に通報義務を課している。

通報件数・・・0件

発見件数・・・0件

14：利用者状況（所轄の福祉事務所別）

（令和7年3月31日現在）

事務所／性別	男性	女性	合計
岡山市北区中央福祉事務所	0	1	1
岡山市南区南福祉事務所	8	10	18
岡山市中区福祉事務所	1	0	1
合 計	9	11	20

入・退所状況

入所・・・0名

退所・・・0名

利用者状況（年齢別）

（令和7年3月31日現在）

年齢／性別	男性	女性	合計
20歳未満	0	0	0
20歳～24歳	3	0	3
25歳～29歳	0	1	1
30歳～34歳	1	1	2
35歳～39歳	0	1	1
40歳～44歳	0	1	1
45歳～49歳	0	1	1
50歳～54歳	4	0	4
55歳～59歳	0	1	1
60歳～64歳	0	2	2
65歳～69歳	1	1	2
70歳～74歳	0	1	1
75歳～79歳	0	1	1
計	9	11	20

※平均年齢【47歳】